

平成28年8月21日
今週のベストショット



奈多グラウンド レッドサンデーズ 対 三苦三球会戦
一気呵成に攻める三苦三球会を束ねる山崎友寛三塁コーチ
写真：三苦フレンズ 肥喜里一征

雁レク7 ブルーマーリンズ林投手の好投で今季4勝目！

新町パイレーツ (2勝6敗) 000001 1 牟田●-桐島
ブルーマーリンズ (4勝2敗1分) 51003x 9 林○-横山 (健)

HR：横山 (祥) (ブルー) 盗塁：友重 (ブルー)

お盆休みが明け、幾分涼しい中で始まった試合。一回表、パイレーツ先頭打者・俊足の弥栄選手がいきなりセンター前ヒットを放つ。チームに勢いをつけたい弥栄選手が盗塁で二塁を狙うも、ブルーマーリンズ強肩捕手・横山 (健) 選手が見事な送球で盗塁を刺し流れを断ち切る。その後、林投手が二、三番をきっちりと打ち取り0点に抑える。一回裏、ブルーマーリンズの攻撃は、二番井上 (紘)、三番三上選手の連続ヒットでチャンスを作る。ベンチが盛り上がる中、五番糸井選手の中前適時打で先制すると、勢いは止まらずランナーを二人残して六番横山 (祥) 選手が右中間に3ランHRを放ち、初回到5得点。二回裏にもブルーマーリンズは三番三上選手のヒットで1点追加で二回終了時点で6点差をつける。パイレーツも白岩監督を中心に反撃に転じたいところではあったが、ブルーマーリンズの林投手の緩急をつけたピッチングとバックの必死の守備で0点が続く。五回裏ブルーマーリンズは代打攻勢が実り3点を追加。パイレーツは最終回到1点を返すのが精一杯。林投手は惜しくも完封は逃したが4安打に抑え、見事な完投勝利。パイレーツは、敗れはしたが選手一人ひとりが最後まで声を掛け合いあきらめない姿勢が素晴らしいと感じた。後半戦に期待したい。ブルーマーリンズは、小柳監督が若手、ベテラン選手をまとめていているのと選手個々の力を見極め適材適所で起用しているように感じた。後半戦の戦いが非常に楽しみだし、今年は上位を狙えるのではないかと感じた。(記事・写真：奈多クラブ 木伏陽一郎)



緩急をつけた見事なピッチングのブルーマーリンズ林投手。



ブルーマーリンズ横山（健）捕手の強肩が光る！



軽快なバント処理をするパイレーツ牟田投手。



きわどいプレー、タッチアウト！



ホームラン狙い！？パイレーツ桐島選手。



右中間に見事なHR！ブルーマーリンズ横山（祥）選手。



軽快な守備をみせるパイレーツ八坂選手。



チームを引っ張るブルーマーリンズ末松選手！



ブルーマーリンズ小柳監督の見事な采配！



笑顔で試合後のミーティング、見事なチームワーク！



本日のヒーロー！ブルーマーリンズ林投手(左)と横山健介捕手(右)

青松園A 三友クラブバッテリー、豪打のホーネッツをわずか2点に抑え勝利！！

三友クラブ (5勝2敗) 3 0 1 3 7 足達○ー谷崎

三苦ホーネッツ (6勝2敗) 1 1 0 0 2 矢野●ー前園、松尾

HR：稲葉 (三苦ホ) 2BH：今田 (三苦ホ) 谷崎 (三友ク)

盗塁：逸見、塚、正内 (三苦ホ) 坂本、平田、中内、谷崎、山本 (三友ク)

初回、三友クラブ先頭の坂本選手が四球を選ぶとバッテリーエラーで二塁に進む。続く二番平田選手がセーフティバント成功し、盗塁を決め無死二三塁のチャンス。三番中内選手の打席でまたしてもバッテリーミスが生じ、労せず1点を先制。中内選手も四球後、すかさず盗塁を決め再び無死二三塁。四番中嶋選手は二飛に倒れるも五番谷崎選手の中前打、さらに六番松尾選手の二ゴロで2点を追加し、立ち上がり精彩を欠く矢野投手から初回到幸先よく3点を取った。対するホーネッツはその裏、先頭の逸見選手がセーフティバントで出塁後、盗塁を決めると続く二番打者は凡退するも三番矢野選手が内野安打を放つ。矢野選手は相手の隙をつき一気に二塁へ進み一死二三塁のチャンスを作ると、四番三浦選手がきっちりセンターへ犠飛を打ち1点を返した。続く五番正内選手も四球後に盗塁を決め二死二三塁と一打同点のチャンスだったが、ここは三友クラブ足達投手が踏ん張り、今田

選手を左飛に抑えこの回を2失点で凌ぐ。矢野投手も二回には立ち直り、1安打を許すも二つの三振を奪い無失点に抑える好投で裏の攻撃へいい流れをもたらすと、九番稲葉選手が痛烈なソロHRを放ち点差を1点に縮めた。追いつけるホーネットスに流れは来ていると思われたが、この日は珍しく矢野投手がノリきれない。先頭を振り逃げで出した後、三度のWPで相手に貴重な追加点を与えてしまい再び2点差。一方の三友クラブ足達投手はその裏、相手に的を絞らせずホーネットス打線を四人で抑え流れを渡さない。三友クラブは四回、先頭の山本選手が相手失策で出塁すると続く一番坂本選手、二番平田選手共に四球を選び無死満塁とすると、三番中内選手の右前打と五番谷崎選手の右中間への二塁打でダメ押しとなる3点を追加する。5点差とされたホーネットスも諦めない姿勢を見せるが今日の三友クラブバッテリーから点を取るのは難しく、このままゲームセットとなった。最後まで制球に苦しんだ矢野投手に対し、リーグトップの得点力を誇るホーネットスをわずか2点に抑えた三友クラブバッテリーの熟練の技が光る試合であった。(記事・写真：奈多フェニックス 実延新伍)



見事な完投勝利、三友クラブ 安達投手。



調子が上がらなかったホーネットス 矢野投手。



初回、2点目のタイムリーを放つ三友クラブ谷崎選手。



初回、貴重な犠飛を放つホーネットス三浦選手。



四回表、右前に適時打を放つ三友クラブ中内選手。



ゴロを軽快にさばくホーネットス塚恭祐選手。



三友クラブ松尾選手 3 点目のタイムリー内野ゴロ。



何とか塁に出ようとするホーネット松尾選手。

奈多グラウンド 三苦三球会が二回に猛攻をかけ勝利をものに！

レッドサンデーズ（1勝6敗1分） 1 0 1 0 0 2 塚本●ー荒口

三苦三球会 （2勝6敗） 0 6 0 3 0 9 吉留○ー袁原

3BH：袁原（三球会） 2BH：川原（陸）（レッド） 大津2（三球会）

今日も相変わらずの暑さが続く早朝。いきなりレッドサンデーズは先頭の川原（陸）選手が二塁打を放ち、三番八島選手の内野安打の間に1点を先取。幸先よく試合をスタートさせた。その裏、三球会の先頭打者原口選手も負けじとライト前を放ち出塁するが、後続が断たれ0点で一回を終了。しかし、二回にビクイニングが！一死から六番濱口選手がセンターへはじき返すと九番渡辺選手が続き、一番原口選手がレフトへ3点タイムリーを放ち逆転に成功。続く大津選手にタイムリー二塁打、袁原選手にも2点タイムリー三塁打が生まれ、一挙6点を奪った。レッドサンデーズも三回表に野々下選手の内野安打で1点を追加し、その裏、荒口捕手が本日二度のスチールを阻止するなど、攻守にわたって必至に追いかけるが、四回表にヒットと2点タイムリー二塁打等で3点を奪われ力尽きた。振り返れば、猛打賞の原口選手、二打席連続二塁打の大津選手、4打点の袁原選手と一番から三番の活躍が際立った試合だった。（記事・写真：三苦フレンズ 肥喜里一征）



晴天の下、さあ一試合開始！



一回表、レッド一番川原（陸）選手がいきなり二塁打を放つ。



一回裏、三球会一番原口選手ライト前ヒット。



二回裏、センター前にはじき返す濱口選手



本日3安打猛打賞と大活躍の原口選手。



二回裏、三塁打を放つ袁原選手。



三回裏、本日二度のスチールを阻止する荒口捕手。



四回裏猛ダッシュでレフトフライに前田選手。



本日、サードゴロにライナーに大忙し壱岐選手。



五回表、センターフライをガッチリ捕球する濱口選手。

青松園B 粘りのウインズが逆転サヨナラで試合を制す！

雁ノ巣ライナーズ（4勝3敗1分）6 2 0 0 0 0 8 有馬、今林（貢）●一山崎

新町ウインズ（5勝3敗）3 2 0 1 0 3 × 9 早田、岩田○一今林（孝）

HR：泉、今林（孝）（新町ウ） 2BH：桐島・岩田（新町ウ） 宇野（雁ノ巣）

盗塁：安藤 4 桐島（新町ウ） 明瀬（旭） 有馬（雁ノ巣）

一回表ライナーズの攻撃は、コントロールが定まらないウインズ早田投手を攻め、無死満塁として四番宇野選手の適時二塁打で2点先制すると、その後もPB、久保田選手・今林（貢）選手の適時打等で6点先制。その裏ウインズもコントロールが定まらないライナーズ有馬投手を攻め満塁とすると、2つのWPと五番野中選手の右前適時打で3点を返す。二回表ライナーズは、満塁から有馬選手の放った打球がライトのエラーを誘い1点、続く今林（貢）が四球を選び更に1点を追加する。二回裏ウインズは、九番泉選手のHRで1点を返し更に死球で出塁したランナーを二塁において桐島選手の一塁後方に落ちる二塁打で1点を返す。ライナーズは三回表から最終回まで初回よりリリーフ登板した岩田投手に無失点に抑えられれば、ウインズも同様に三回から登板したライナーズ今林（貢）投手の緩急をつけた巧みな投球に五回までノーヒットに抑えられる。試合時間残り30秒六回の攻防に突入すると、ライナーズはヒット3本を放ちながら無失点に終わり最後の守りに入る。ウインズの最後の攻撃は一死から岩田選手が二塁打を放つと、安藤選手の中前適時打で1点を返し1点差として三番今林（孝）選手。ここで今林（孝）選手が左中間へ劇的な逆転サヨナラ2ランで幕を閉じた。ウインズ岩田投手の粘りのピッチングが勝利を呼び込んだように思える一方、ライナーズ今林（貢）投手の三回から五回までのピッチングもお見事でした、ただ六回の投球が悔やまれる。（記事：奈多サンデーズ 田中（俊）、写真：土田）



劇的な試合前の挨拶



初回からマウンドに集まるウインズライン。



好打も正面を突くライナーズ久保田選手。



怪我を押し踏ん張るライナーズ有馬投手。



俊足を生かすウインズ二番安藤一步樹選手。



右前タイムリーのウインズ五番野中選手。



二回裏、本塁打でホームインウインズ九番泉晴也選手。



華麗にさばくウインズ泉晴也遊撃手。



最終回試合を決める一打を放つウインズ今林孝智選手。



サヨナラのホームへ鬼の形相で走る！



本日のヒーロー、ウインズ今林孝友選手のVサイン。

第14週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第14週、8月21日は4試合が行われました。

雁レク7の和白新町パイレーツ対ブルーマーリンズ戦は、今最も勢いがあるブルーマーリンズが初回から猛攻を仕掛け、5点を先制すると攻撃の手を休めることなく1-9で勝利した。この試合のポイントは一回表にパイレーツ一番弥栄選手がヒットで出塁した後の盗塁をブルーマーリンズ横山健介捕手が差してパイレーツが波に乗るところを防いだ点でしょう。野手の好守備がもともと安定している林投手の援護になっていることは間違いない。

青松園Aの三友クラブ対三苦ホーネッツ戦は、ホーネッツに対して相性のいい三友クラブが初回から3点リードすると一度も追いつかれることなく点差を広げ7-2で勝利。最近珍しく両チームで合計8盗塁と走り合いの試合。両チーム共に5安打ではあったが四死球と効果的な走塁が勝敗を決した形となった。昨年優勝のホーネッツは痛い1敗となった。

奈多グラウンドのレッドサンデーズ対三苦三球会の今季1勝同士の対戦は、1点ビハインドの二回裏三球会は一死から長短打を絡めて6点を挙げると、レッドのまずい守備を突いて点差を広げ2-9で2勝目。この試合2捕殺のレッド荒口捕手の方が光ったが、守備が崩壊しているレッドは、早急な立て直しが求められる。

青松園Bの雁ノ巣ライナーズ対新町ウインズ戦は、初回から点の取り合い。二回で8-5とライナーズリードするも徐々に点差を詰めたウインズが今林孝智選手の逆転サヨナラ2ランで試合を決めた。これがシーズン序盤の勢いを取り戻す起爆剤となるか？

お盆を過ぎて、夏のオリンピックと甲子園大会も終わり秋へなろうかとしています。まだまだ暑いですね。

西日本は天気が続きますが急な夕立や、ゲリラ豪雨があちこちで起こり得ます。

早朝とはいえ試合中にも急な天候の変化もあるかもしれませんので、その対策も考えておいた方がいいかもしれませんね。